

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 3 月 16 日 (2006.3.16)

【公開番号】特開 2004-162505 (P2004-162505A)
 【公開日】平成 16 年 6 月 10 日 (2004.6.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-022
 【出願番号】特願 2003-12038 (P2003-12038)
 【国際特許分類】

E 0 3 D 11/02 (2006.01)

E 0 3 D 5/10 (2006.01)

【F I】

E 0 3 D 11/02 B

E 0 3 D 5/10

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 1 月 17 日 (2006.1.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 便器本体と、前記便器本体のボウル面に洗浄水を吐水するリム吐水部への給水とトラップ排水部に直接ジェット洗浄水を吐水するジェット吐水部への給水をそれぞれ独立に行なう給水手段と、前記給水手段の動作を制御する制御手段と、人体を検知する人体検知手段及び / 又は人体が便座へ着座したことを検知する着座検知手段と、を備えた便器装置において、前記人体検知手段及び / 又は前記着座検知手段が非検知状態から検知状態に切り替わった場合の第 1 検知信号に基づいて前記制御手段が前記給水手段を作動させて前記リム吐水部へ第 1 の給水量の給水を行なうことを特徴とする便器装置。

【請求項 2】 便器本体と、前記便器本体のボウル面に洗浄水を吐水するリム吐水部への給水とトラップ排水部に直接ジェット洗浄水を吐水するジェット吐水部への給水をそれぞれ独立に行なう給水手段と、前記給水手段の動作を制御する制御手段と、前記制御手段に命令を送信する操作手段と、を備えた便器装置において、前記操作手段からの信号を受信した前記制御手段が前記給水手段を作動させて前記リム吐水部へ第 1 の給水量の給水を行なうことを特徴とする便器装置。

【請求項 3】 請求項 2 記載の便器装置において、前記操作手段はリモコンボックスであることを特徴とする便器装置。

【請求項 4】 請求項 2 または 3 に記載の便器装置において、人体を検知する人体検知手段及び / 又は人体が便座へ着座したことを検知する着座検知手段を備え、前記人体検知手段及び / 又は前記着座検知手段が非検知状態から検知状態に切り替わった場合の第 1 検知信号に基づいて、前記操作手段が操作可能となることを特徴とする便器装置。

【請求項 5】 請求項 1 乃至 4 のいずれか記載の便器装置において、前記第 1 の給水量は、用便後汚物を排出するために前記リム吐水部に給水する第 2 の給水量よりも少ないことを特徴とする便器装置。

【請求項 6】 請求項 1 乃至 5 のいずれか記載の便器装置において、前記制御手段が前記第 1 の給水量を調節する給水量調節機能を備えていることを特徴とする便器装置。

【請求項 7】 請求項 5 記載の便器装置において、前記人体検知手段及び / 又は前記着座検知手段が検知状態から非検知状態に切り替わった場合の第 2 検知信号に基づいて前記制御手段が前記給水手段を作動させて前記リム吐水部へ前記第 2 の給水量の給水を行な

うことを特徴とする便器装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

また、本発明の好ましい態様としては、前記人体を検知する人体検知手段及び／又は人体が便座へ着座したことを検知する前記着座検知手段を備え、前記人体検知手段及び／又は前記着座検知手段が非検知状態から検知状態に切り替わった場合の第１検知信号に基づいて、前記操作手段が操作可能とする。

これにより、トイレ内の掃除中など誤って操作手段を操作しても動作することはない。